

たかそう 連携だより

地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

2026年発行
第237号
10月号

北4階病棟プレイルームのご案内 2

北4階病棟 保育士 矢島 美季

専門・認定看護師紹介 3

急性・重症患者看護専門看護師 黒田 達也
がん看護専門看護師 櫻井 史子
がん看護専門看護師 清原 文

放射線科だより	4
薬剤部だより	5
臨床検査科だより	6
医師紹介コーナー	7
地域医療連携登録医のご紹介	8～9
外来診療担当表	10～11
院長閑話	12

志賀高原
蓮沼

提供：患者サポートセンター スタッフ

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>
地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

北4階病棟プレイルーム のご案内

北4階病棟 保育士 矢島 美季

子どもにとって生きる活力ともなる遊び。ですが、子どもは入院すると一番の楽しみである遊びから遠ざかり、非日常という医療環境で過ごすこととなり、そのストレスは計り知れません。そして体調不良の中、受ける処置や治療は、子どもの恐怖心や不安を増大させます。自分自身が元気になるためとはいえ、幼い子どもにとってその理解は困難で、大きな環境の変化は情緒の不安定さや発達の後退を招いてしまいます。



そのような環境下でも子どもらしく、少しでも前向きに入院生活を送れるよう、小児科病棟にはプレイルームがあります。のびのび過ごせる広さを確保し、子どもが好きなおもちゃや本、ぬり絵や折り紙が準備されています。プレイルームは、病状が回復し医師の許可が出ると使用可能となります。治療のため、ベッド上で長期間過ごす事も多いので、必要に応じておもちゃや本の貸し出しなどの対応もしています。また、子どもと付き添う家族が一時でもほっと出来るよう、廊下やプ

レイルーム内を装飾し季節感を感じられるイベントも取り入れています。プレイルームで遊ぶことを楽しみに治療を頑張るお子さん、貸し出しおもちゃで遊びながらベッド上で過ごすお子さん、遊べることで子どもに笑顔が戻り安心されるご家族も少なくありません。小児科ならではの療養環境を整え、医療という場でも、子どもが子どもらしく、その子らしく、子どもの権利を守られながら過ごせるよう、子どもに優しい環境を小児科病棟全スタッフでつくっています。



専門・認定 看護師紹介



急性・重症患者看護
専門看護師

黒田 達也

私は専門看護師として、ICUで生命を守るための治療を支えながら、その後の生活まで見据えた看護を大切にしています。重い病気や治療の影響により、治療後も体力の低下、不眠や気分の落ち込み、記憶力・集中力の低下が残ることがあります。こうした不調を予防するため、苦痛や混乱を和らげるケア、睡眠環境の調整、早期リハビリなどを多職種と連携して行っています。また、患者さんの思いをくみ取り、治療の選択に悩む患者さんやご家族が納得して選べるよう、一緒に考えています。その人らしい生活を取り戻せるよう、回復の過程を支援します。



がん看護専門看護師

櫻井 史子

当院は、2026年1月より認定がん相談支援センターとなり、私はがん相談を担当しております。相談内容には、がん治療や生活のことだけでなく、がんゲノム医療、妊孕性温存や遺伝など様々な相談があります。相談者と一緒に課題を整理する中で、自施設で求められる役割も明確となり、さらなる資格取得に励みました。現在は、専門/認定看護師らと協働した看護外来の運営、看護師/がん専門相談員向け研修の講師だけでなく、遺伝性腫瘍外来やがんゲノム外来の担当など、活動の幅を広げております。今後も、がん患者さんやご家族に寄り添う意思決定支援や、多職種連携と看護の質向上に努めてまいります。



がん看護専門看護師

清原 文

はじめまして。私は、がん看護専門看護師として、緩和ケアチームの専従看護師として活動しています。また、AYA世代（思春期・若年成人）のがん患者さんを支援するAYAサポートチームや、看護外来の立ち上げにも携わってきました。患者さんが必要な支援につながり、安心して治療や生活に向き合える体制づくりにも取り組んでいます。病気のことだけでなく、おひとりおひとりが大切にしていることや、これからの希望にも心を寄せ、がんとともにその人らしく生きていけるよう支えていきたいと思っています。また、患者さんやご家族を支える院内の多職種の皆さんの相談に応じ、よりよいケアをともに考えていくことも、私の大切な役割だと考えています。患者さんやご家族が少しでも安心し、笑顔で過ごせるよう、これからも心を込めて支援してまいります。

医療機器共同利用 のご案内

当センターで保有しています医療機器を、
地域の医療機関の先生方にもご利用いただけます。
患者さんの診療および治療にお役立てください。

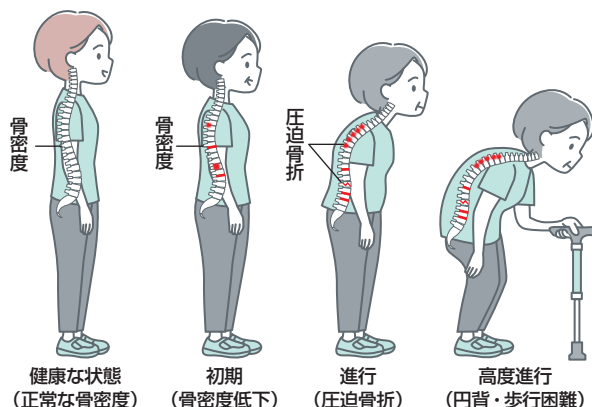
骨折・寝たきりを防ぐ、高精度骨密度検査(DXA) ～先生の日常診療をサポートし、骨粗鬆症の早期発見・病診連携を目指します～

超高齢社会を迎えた日本において、要介護状態を招く「大腿骨や脊椎の脆弱性骨折」は増加の一途をたどっています。これらの骨折は患者さんのQOLを著しく低下させ、健康寿命を縮める深刻な問題です。当センターでは、骨粗鬆症診断のスタンダードである「腰椎・大腿骨DXA法」を導入し、ガイドラインに基づいた客観的かつ正確な評価を行っています。「一度詳細な骨密度を測定し、結果に基づいて先生のクリニックで継続治療・管理を行っていただく」という、理想的な病診連携を地域の先生方と共に築いていきたいと考えております。どうぞお気軽にご活用ください。

こんな患者さんはいらっしゃいませんか？ (スクリーニング対象)

- 生活習慣病・二次性骨粗鬆症リスク
糖尿病（骨質低下リスク）、慢性腎臓病（CKD）（骨ミネラル代謝異常）、高血圧症、関節リウマチ、胃切除後など
- 薬剤性骨粗鬆症リスク（長期処方中）
全身性ステロイド（3ヶ月以上使用中・予定）、乳がん（アロマターゼ阻害薬）、前立腺がん（アンドロゲン遮断療法）、PPIや抗てんかん薬の長期服用
- 見逃されやすい臨床的サイン
身長が2cm以上縮んだ、背中や腰が丸くなってきた（円背）、原因不明の慢性的な腰背部痛、軽微な転倒による骨折既往

骨粗鬆症

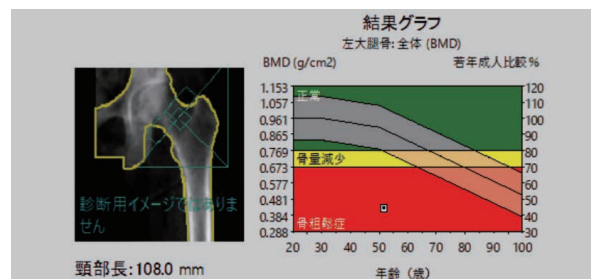
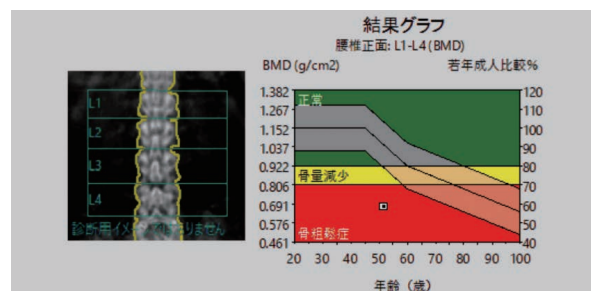


骨密度検査(DXA)ご依頼時のお願い

腰椎・股関節に大きなインプラントがないかご確認ください。

正確な解析のため、ご依頼時に【身長・体重】を必ずお知らせください。

検査は10分程度ベッドに寝た状態で行います。



ご紹介から結果報告の流れ

- ①患者さんが貴院受診。
- ②貴院より当センター地域医療支援・連携センターへFaxにて、事前予約申込書で各検査の予約をお願いいたします。メディグルのアカウントを発行済の登録医の方はWeb予約も可能です。
- ③貴院より患者さんへ「検査予約日時」のご案内をお願いいたします。
- ④検査当日患者さんは保険証、予約票および紹介状原本を持参し、1.地域連携窓口にお越しいただくようお願いいたします。
- ⑤患者さんには、検査約10分をお受けいただき、その後院内で結果説明を行い終了となります。
- ⑥紹介元医療機関宛に、一週間以内を目安に結果を郵送します。



薬剤部だより

薬剤部 宮脇 未来

外来がん治療を支えるチーム医療 ― 病院と地域でつなぐ安心の輪 ―

がん治療の進歩により、現在は通院で抗がん剤治療を継続される方が多くなりました。住み慣れたご自宅で過ごせる時間が増える一方で、副作用へのご不安や日々の体調管理をご自身やご家族が担う場面も増えていることと思います。

ご自宅での療養を安心して継続していただくため、病院内では医師や看護師との多職種連携に加え、「薬剤師外来」を設けています。診察前に病院薬剤師が面談し、副作用の状況などを丁寧に伺うことで、より安全な治療を支えています。

また、通院治療室では看護師に加え薬剤師や栄養士も皆様の席へ伺います。「体調の変化」や「食事の工夫」など、治療中の細かなお悩みもぜひお聞かせください。多職種で情報を共有し、一人ひとりに合わせたきめ細やかなサポートを心掛けています。

私たちのサポートは、病院の扉を出て終わりではありません。ご自宅での生活をさらに

心強いものにするため、地域のかかりつけ薬局とも連携しています。その重要な橋渡しとなるのが「トレーシングレポート（服薬情報提供書）」です。地域の薬局で伺った「食欲が落ちている」「手足がしびれる」といった日常の些細な変化は、このレポートを通じて病院へ報告されます。

報告を受けた病院薬剤師は主治医らと情報を共有するとともに、次回の薬剤師外来で体調をより深く確認するための情報として活用します。これが副作用の早期対応やお薬の調整など、きめ細やかな治療へと繋がるのです。

皆様が住み慣れた地域で、ご自分らしい穏やかな日常を保ちながら治療に向き合えるよう、病院と地域の垣根を越えたネットワークが皆様をお守りしています。日々の療養で生じたご不安は、どうぞ遠慮なく病院や地域の薬剤師へお聞かせください。





第 93 回 臨床検査科だより



薬剤耐性菌について

●薬剤耐性菌とは

薬剤耐性菌とは、**抗菌薬（抗生物質）が効きにくくなったり、効かなくなったりした細菌**のことです。感染症の治療では、原因となる細菌に合わせて抗菌薬を使用します。しかし、薬剤に耐性がある細菌に感染した場合、通常の抗菌薬では十分な効果が得られないことがあります。そのため、治療が長引いたり、使用できる薬が限られたりして、治療が難しくなることがあります。

●なぜ薬剤耐性菌は増えるの？

細菌の中には、もともと抗菌薬に強い性質を持ったものがごく一部存在しています。

抗菌薬を必要以上に使ったり、処方された薬を途中でやめたりすると、抗菌薬が効く細菌は減りますが、効きにくい細菌だけが生き残ることがあります。そして、生き残った細菌が増えることで、抗菌薬が効きにくい「薬剤耐性菌」が広がってしまいます。



薬剤耐性菌を増やさないために～私たちができる3つのポイント～

1.処方された抗菌薬は、用法・用量を守って服用する

不適切な抗菌薬の服用は、耐性菌が生き残る原因となります。耐性菌を増やさないために、病気が治ったと思って途中で服用をやめずに最後まで飲み切りましょう。

2.風邪をひいても自己判断で抗菌薬を服用しない

ほとんどの風邪の原因はウイルスのため、抗菌薬は効きません。医師の診察による適切なお薬の処方を受け、不要な抗菌薬の服用は避けましょう。

3.手指衛生など基本的な感染対策を行う

薬剤耐性菌は人から人へ広がることがあります。手洗いや手指消毒などの基本的な感染対策が、耐性菌の拡散防止につながります。



薬剤耐性菌は、将来の感染症治療を難しくする大きな問題です。

「必要なときに、必要な抗菌薬を、正しく使うこと」が耐性菌を増やさないために大切です。一人ひとりの適切な薬の使用と感染対策への取り組みが、あなた自身と周りの人を守ることにつながります。

医師紹介

当センターの医師を紹介します。

今年度4月より高崎総合医療センターで勤務させていただいております、木口友紀と申します。出身は群馬県前橋市で、群馬大学を卒業後、公立藤岡総合病院にて初期研修を行い、群馬大学神経内科に入局しました。

私は自身の祖母が認知症を患い、患者さんと患者さんのご家族の大変さを身をもって実感しました。祖母とは自宅で同居していましたが、不穏が強くなり、精神科入院となりました。症状が進行し、一緒に過ごした記憶もなくなっていく祖母を見るのがつらくて、面会もいけずいた時期もありました。そんな経験が少しでも生かせればと思い、神経内科へ進みました。患者さんだけでなく、患者さんのご家族、その生活にまで目を向けて診療にあたりたいと考えております。

脳神経内科

きぐち

ゆき

木口 友紀

一時期は子育てのために急性期医療から離れていたこともあり、臨床経験はまだまだ浅いですが、経験を積んで地域の医療に貢献できるよう精進していきたいと考えております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

4月より高崎総合医療センターに赴任いたしました、泌尿器科の大井薫子と申します。私は東京女子医科大学を卒業後、2年間の初期臨床研修を経て群馬大学医学部泌尿器科に入局し、専攻医として県内の医療機関にて研鑽を積んでまいりました。

泌尿器科の扱う領域は、前立腺癌や腎癌といった悪性腫瘍から尿路結石、排尿障害まで多岐にわたります。当院では、ダビンチによるロボット支援手術や内視鏡手術、男性不妊症に対する手術など多くの外科的治療はもちろん、悪性腫瘍に対する化学療法、尿路感染症、前立腺肥大症や尿失禁に対する内科的治療など、泌尿器科疾患全般に対応が可能です。

泌尿器科

おおい

ゆきこ

大井 薫子

今年度は医師数が5名に増員され、診療の幅、質ともに今まで以上に充実しております。近隣の医療機関と連携しながら、地域のみなさまに適切かつ細やかな医療を提供できるよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

はぎわら内科医院

院長あいさつ

高崎市下豊岡町で平成3年開院しました。内科一般診療を行っています。

高崎総合医療センターの内科登録医です。病院と診療所の連携が今後ますます重要になってくると考えられます。



はぎわら内科医院
院長

萩原 修



診療科・病院案内

内科・脳神経内科(火水金土)・呼吸器内科・胃腸内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:30~13:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:00)	●	●	●	△	●	△	△

※脳神経内科は午前の診療開始時間が変更することがありますので、お電話にてご確認のうえ、ご来院ください。

群馬県高崎市下豊岡町1387-1 TEL:027-328-1222

内科一般(特に脳神経内科、呼吸器内科、胃腸内科、アレルギー症状)について御相談下さい。
高崎総合医療センターの登録医として地域医療に取り組んでいます。

たかさき眼科

院長あいさつ

当院は地域に密着した、かかりつけ医として眼科診療を通じて、みなさまに分かりやすく安心できる医療サービスを心がけ、地域医療に貢献できるように努めて参ります。

また、土曜日・日曜日・祝日も診療致しますので、平日はお忙しい方でもご利用いただけます。イオンモール高崎の駐車場をご利用いただけますので、お車での来院も便利です。



たかさき眼科
院長

泉 研一

診療科・病院案内

眼科

診療時間	月	火	水※	木	金	土	日・祝
午前(10:30~13:00)	△	△	●	●	●	●	●
午後(15:00~18:00)	△	△	●	●	●	●	●

※月曜日・火曜日が祝日の場合は診療、その週の水曜日は休診となります。

群馬県高崎市棟高町1400 イオンモール高崎2階
TEL:027-310-9079

たかさき眼科は、みなさまの立場にたって症状を詳しくお聞きし、具体的で丁寧な説明を心がけ、一人ひとりに合わせた医療を目指してまいります。眼科一般診療から、緑内障・糖尿病眼科検診、眼底疾患と眼鏡・コンタクトレンズ処方を行っています。事前予約、当日予約も可能です。

目について少しでも気になる事がありましたらお気軽にご来院、ご相談ください。

かみおこどもクリニック

院長あいさつ

ちいさなお子さまをクリニックに連れて行く、想像していた以上に大変な事と思います。

自宅でできることはなるべく自宅で済ませられる。病院でも安心してこどもの要求に応えることができる。受診が終わる時間が把握できる。

「そんなクリニックがあったらいいな」から、かみおこどもクリニックはスタートしました。こどもの健康、そしてお母さんの安心。お気軽にご相談ください。



かみおこども
クリニック

院長

神尾 綾乃

診療科・病院案内

小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	●
午後	15:00~ 18:00	15:00~ 18:00	17:00~ 19:00	15:00~ 18:00	15:00~ 19:00	13:00~ 17:00	●

※午後は曜日によって診療時間が変わります。

※前日が祝日の場合は、火曜日午前診療となります。

群馬県高崎市台町35-2 TEL: 027-393-6973

丁寧でわかりやすい説明はもちろん、待ち時間の短縮やクリニック内でお薬を受け取れるなど、あらゆることをワンストップで済ませることができる環境を用意しています。

お子さまのどんなにちいさな変化であっても、ご家族は非常に心配になってしまうものです。診察を受けるためのハードルを無くしたい。どんな小さな不安でも解消される、そんなクリニックを目指しています。

けやきクリニック

院長あいさつ

私は、群馬大学を卒業し、群馬大学の関連病院に長く勤務してまいりました。消化器の病気(胃・大腸・肝臓)を中心に診療してまいりましたが、総合病院など一般病院の経験も長く、呼吸器の病気・糖尿病・高血圧の治療にも長年従事しておりました。また消化器内視鏡学会の専門医として内視鏡診断・治療に力を注ぎました。今まで以上に培った知識・技術・経験を活かし、さらに一層、専門治療だけでなく、はば広い地域医療への貢献をすすめていきたいと思っています。



けやきクリニック
院長

鴨下 憲和

診療科・病院案内

内科・外科・消化器内科・肛門外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	●
午後(15:00~18:30)	●	●	●	●	●	◆	●

◆土曜日は14:00~17:30まで

埼玉県児玉郡上里町七本木5574 TEL: 0495-35-3500

当院では一般内科・外科の診療から予防接種まで対応しています。超音波検査は、肝・胆・膵・胆嚢の精査はもとより、下痢・腹痛時の腸管精査を行います。そのほか内分泌系疾患(甲状腺・乳腺)の精査や頸動脈内膜厚測定による動脈硬化の判定を行っています。経鼻内視鏡は、以前の胃カメラに比べ楽に検査ができます。月~土曜日まで毎日消化器内視鏡専門が行っています。電話予約も可能です。その他、まきづめの外科的治療・皮膚の腫瘍の切除・切り傷の縫合も対応します。いば痔は保存的・手術的に治療します。お気軽にご相談ください。

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 午前	(木村 彰仁) 午前	(田村 耕成) 午前	佐藤 正通 午前	佐藤 正通 午前
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後	佐藤 正通 午後	(合田 史) 午後・総合診療感染症外来	
腎臓・膠原病リウマチ内科	内藤 聖 午前：新患	(都野 柚香) 午前	渡辺 光治 午前	内藤 聖 午前	中里見 征央 午前
血液内科	(三井 健揮) 午後				
内分泌・代謝内科	渋谷 信行	(高橋 里奈) 午前	植原 良太	渋谷 信行	渋谷 信行
		(植原 正也)			植原 良太
脳神経内科	平柳 公利	平柳 公利	唐澤 将紀	柴田 真	木部 朱理
	木口 友紀		木口 友紀		
呼吸器内科	山村 彩 午前	細野 達也	小林 頂	中川 純一	細野 達也
	久野 花凜	倉島 優理亜	(田口 浩平)	黒岩 裕也	根生 明李
消化器内科	長沼 篤 午前	星野 崇 午前	柿崎 暁 午前	長沼 篤 午前	上原 早苗 (紹介のみ)
	安岡 秀敏 午前	鈴木 悠平 午前	安岡 秀敏 午前	増田 智之 午前	佐野 希望 午前
	上原 早苗 午前	佐野 希望 午前	増田 智之 午前	鈴木 悠平 午前	書上 愛 午前
	成清 弘明 午前	成清 弘明 午前	小玉 祥平 午前	齋藤 肇 午前	小倉 南海 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / (井戸)	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (午前)	太田 昌樹	高橋 伸弥	広井 知歳	福田 延昭	小林 紘生
	村田 智行	大駒 直也	羽鳥 直樹	高橋 洋右	谷内 亮太
新患外来(午前)	福田 延昭	福田 延昭	高橋 伸弥	羽鳥 直樹	福田 延昭
狭心症外来(午前)	村田 智行				
不整脈外来(午後)	太田 昌樹		太田 昌樹		小林 紘生
心不全総合外来(午後)		高橋 伸弥		高橋 伸弥	
ペースメーカー外来(午後)					太田 昌樹
精神科	山崎 雄高	山崎 雄高	山崎 雄高	山崎 雄高 (神出 誠一郎)	山崎 雄高
小児科	溝口 史剛 午後第2,4,5週のみ	溝口 史剛 午後	倉田 加奈子 午後	倉田 加奈子 午前	佐藤 幸一郎
	吉川 晟羽 午後第2,4,5週のみ	倉田 加奈子 午前	佐藤 幸一郎 午後	佐藤 幸一郎 第2,4週午後	小笠原 聡
	中島 悠吾 午後	田口 未奈 午前	五十嵐 恒雄 午前	小笠原 聡 午後	湯原 幸弘 第1,2,4,5週
	大関 壘 午後	大関 壘 午前	石井 大暉 午後	小林 慶汰 午後	五十嵐 恒雄 第1,2,4,5週
	五十嵐 恒雄 午前	五十嵐 恒雄 午後	(滝沢 琢己) 午前	(春日 夏那子) 午前	(浅見 雄司) 第3週午後のみ
		木村 優也 午後	<乳児健診> 午前	(八木 龍介) 午後	
小児外科	(西明・高澤慎也) 第1,3週午後		(西明・高澤慎也) 第3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来	小川 哲史 午前	家田 敬輔 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来	平井 圭太郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来	宮前 洋平 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来
	鈴木 雅貴 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来	真木 茂雄	大曾根 勝也 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来	関 貴臣	根岸 諒
	有馬 大樹				
栄養サポート外来		小川 哲史 午前			
禁煙外来		小川 哲史 午後			
ストーマ外来			第2,4週午後・予約	予約	

01 外来診療受付時間

8:30~11:00まで

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはこちらの二次元コードよりご確認ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和8年8月1日現在

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 大井薫	柴田康博 栗原聰太 大井薫	交代制	柴田康博 井上雅晴	交代制
疼痛緩和内科 看護外来	午前・午後 鯉淵幸生 尾林紗弥香	午前・午後 田中俊行 高他大輔 尾林紗弥香	午前・午後 田中俊行 高他大輔 尾林紗弥香	午前・午後 田中俊行 (中澤祐子) 第2,4週午前	午前・午後 田中俊行 鯉淵幸生 高他大輔 尾林紗弥香 交代制 第1,3,5週午後 第2,4週午前 <手術日>
乳腺・内分泌外科	<手術日>	交代制 午後 伊部崇史 高坂貴行 第1,3週午前/第5週午前・午後 第2,4週 新井萌々花	<手術日>	羽鳥恭平 伊部崇史 高坂貴行 新井萌々花 午後	茂原淳 午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後 伊部崇史 高坂貴行 第1,3週午前/第5週午前・午後 第2,4週 新井萌々花	<手術日>	羽鳥恭平 伊部崇史 高坂貴行 新井萌々花 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	交代制 午後 伊部崇史 高坂貴行 第1,3週午前/第5週午前・午後 第2,4週 新井萌々花	<手術日>	羽鳥恭平 伊部崇史 高坂貴行 新井萌々花 午後	茂原淳 午前
整形外科	荒穀毅 信太晃祐 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 毛呂駿臣	荒穀毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 南館和輝	新井厚 茂木智彦 <手術日>	一ノ瀬剛 大島淳文 南館和輝
骨粗鬆症外来		新井厚 午後			
形成外科	交代制 午後 <手術日>	正田晃基 高井美那 午後	正田晃基 高井美那 計良佳彦 第1,5週午前/第2,3,4週午後 第2,3,4週午前/第1,5週午後 午後	高井美那 計良佳彦 午後 <手術日>	正田晃基 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳	連携枠 午前 岡田悦子 今井みちる	<手術日>	鹿兒島海衛 今井みちる (井上千鶴) 午前	佐藤晃之 岡田悦子 朝鳥彩子
皮膚科	交代制	岡田悦子 今井みちる	岡田悦子 朝鳥彩子	今井みちる (井上千鶴) 午前	岡田悦子 朝鳥彩子
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 尾崎佑太	<産後健診> (小林梓) 午前	伊吹蘭 (金井眞理) (森田晶人) 午前 伊藤郁朗	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来					
眼科	土屋明 紹介・予約 久保田大智	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 紹介・予約 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史
放射線治療科	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴 (中川真知)	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴 (井上徹朗) 午前
歯科口腔外科	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子	<手術日> (荒井亮/辻野啓一郎) 第2,4週のみ	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子 佐竹杏奈 柴野正康 午前 午後	<手術日>
新患外来	佐竹杏奈		柴野正康	柴野正康	
摂食嚥下外来		府馬亮介/渡邊真央 午前			府馬亮介/渡邊真央 午前

() の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30～11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00～15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30～18:30 / 土曜日 8:30～17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.64

天災は忘れる前に やってくる

院長 小川 哲史



「天災は忘れた頃にやってくる」という有名な言葉があります。これは物理学者でしかも夏目漱石の弟子でもあった寺田寅彦氏の言葉です。1923年（大正12年）彼が45才の時に関東大震災が起こり、その時の街の様子、被害状況、惨状を科学者の目で冷静に観察し震災の詳細な被害調査として記録しました。その後、寺田氏は「自然災害は人がその恐ろしさを忘れた頃に再び起こる。常に防災意識を持ち、天災に備えよ」と世に警鐘を鳴らし、天災を怖がり過ぎたり逆に過小評価しすぎたりせず「正しくものごとを恐れる」ことの大切さを説きました。しかし、最近はどうでしょう。忘れた頃にやってくると言われた天災は、能登地震や相次ぐ熊本地震、想像を絶するほどの強力な台風や線状降水帯による大雨と洪水が、全国で突然に「忘れる間もなく」やってきます。

これまで日本人は、自然は征服する対象ではなく共に生きる存在として考え、四季の移ろい、春の桜や秋の紅葉のように一瞬の美しさやはかなさに美しさを感じるとともに、山や海、滝、岩、木のような自然物に神聖さや何か特別な力、靈験を見出し、自然に対して敬意を持ってきました。そのような自然が起こす災害に対しては、大いなる畏れを抱くとともに、あきらめとも言える受け入れる気持ち、畏れと受容の感情を持ってきたようです。

昔から日本では随筆や日記、歌集などで自然や天災が描かれています。なかでも災害に関するものの代表は鎌倉時代初期に書かれた鴨長明の「方丈記」でしょう。「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人とすみかと、またかくのごとし」高校の古典の授業で暗唱させられた「方丈記」の書き出しです。「方丈記」には、自然は美しいだけでなく、人の暮らしを簡単に壊す大きな力として描かれています。作中では大火や地震、遷都や飢饉など数々の苦難、災害を通して、自然災害や世の移り変わりの前では人間の営みなどいかに儚いものか、そして生活に執着することこそ苦しみのもとであると説いており、作品全体を通して無常観が伝わります。

同じような無常観を伝える古典として平家物語があります。「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり、沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす」。「方丈記」とならび仏教的無常観を表した名文ですね。万物はうつろい流転する。そこから、中世以来日本人が長い間培ってきた独特の美意識と自然観、天災に対する受容性が生まれたのでしょうか。

現代の日本でも、テレビ等で被災現場の状況を伝えるニュースを見ていると、被災者は大きな声で泣き叫んだり自分の不幸を大げさに嘆いたりすることもなく、支援物資の奪い合いをする光景なども見ることはありません。今夏の地震や洪水の後も、猛暑の中、流れる汗を拭きながら悲嘆にくれるそぶりも見せずに黙々と後片付けをする姿を見るにつけ、自然とともに生きてきた民族の天災に対する受容と不屈さを感じます。

中学高校生の頃、古典の授業で方丈記や平家物語の冒頭を暗唱させられることに抵抗がありましたが、今ではこれこそ大切な教育だろうと思います。古典の中の名文はやはり暗記しないとだめで、そして声に出すことが大切だと思っています。ゆっくりと暗唱することで連綿と続いてきた日本人の思いが心に染みしてくる気がします。

さて、これから我が国では南海トラフ巨大地震が起こり、それに連動して首都直下型地震や富士山の噴火までも発災し、未曾有の大災害に襲われることが危惧されています。そのような巨大災害に、現代の複雑に発展した社会は耐えられるのでしょうか。私たちにできることは寺田氏が言うように「正しく恐れ、備える」しかないのでしょうか、空恐ろしくなりますね…。

(9月15日)

Information

行事などのお知らせ

第67回地域連携症例検討会

泌尿器科領域疾患の
診断と治療の連携

日時：2026年10月14日(水)
18:45～20:00

演者：高崎総合医療センター
外科系診療部長 柴田 康博

対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

10月の
キャンサーボードは
休会となります



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

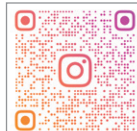
ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索

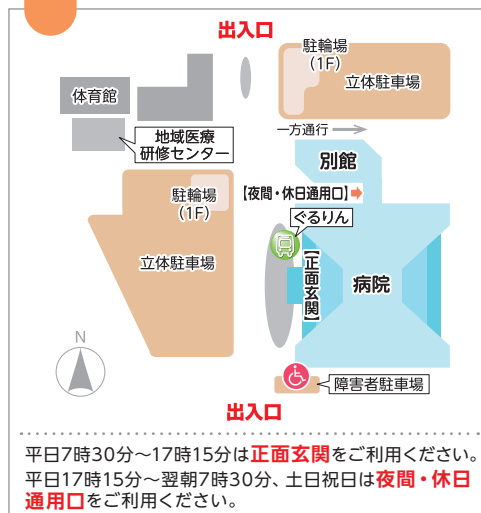


Facebook



Instagram

高崎総合医療センター案内図



平日7時30分～17時15分は**正面玄関**をご利用ください。
平日17時15分～翌朝7時30分、土日祝日は**夜間・休日
通用口**をご利用ください。



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター